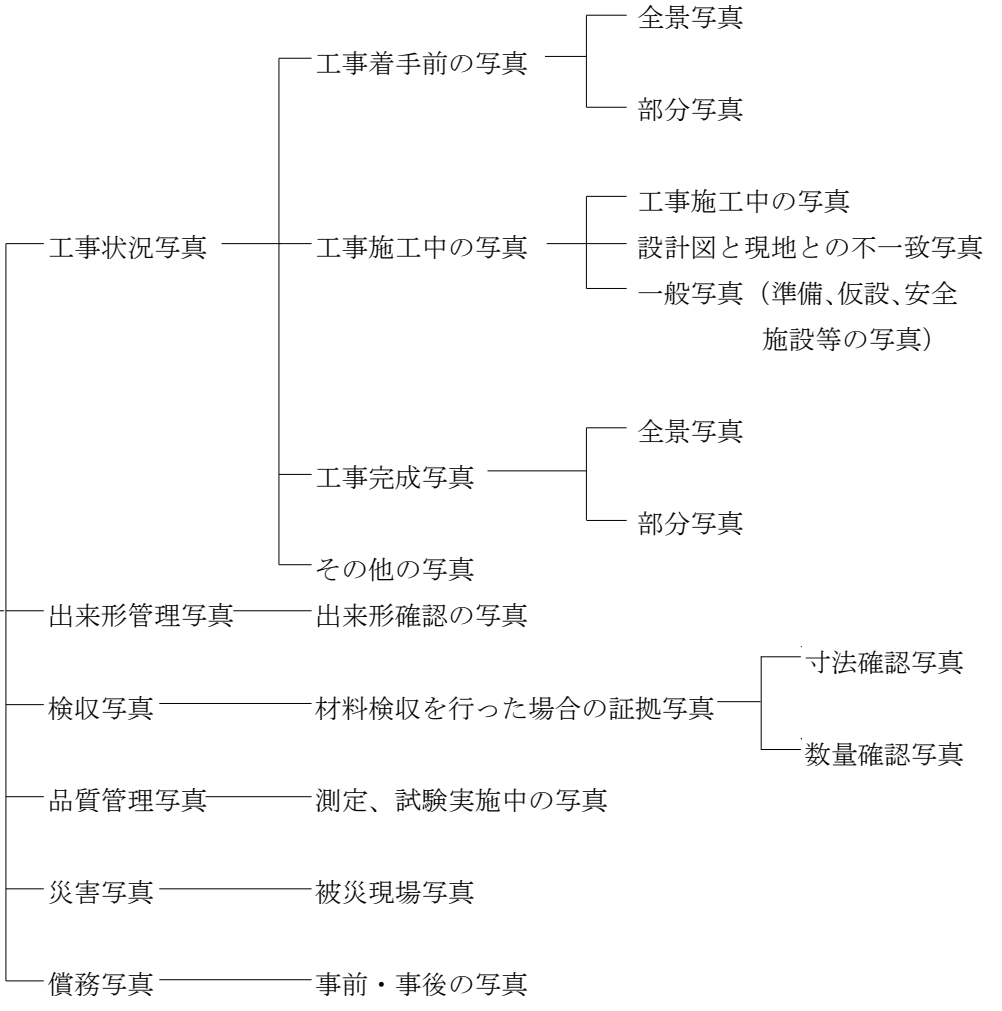


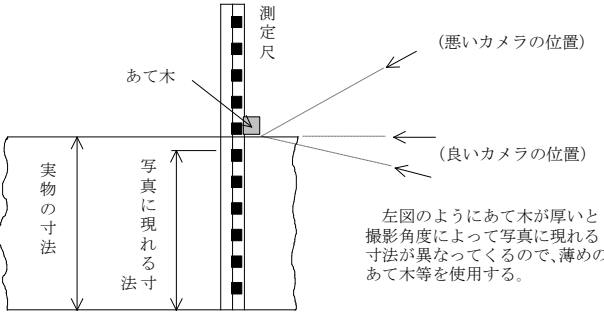
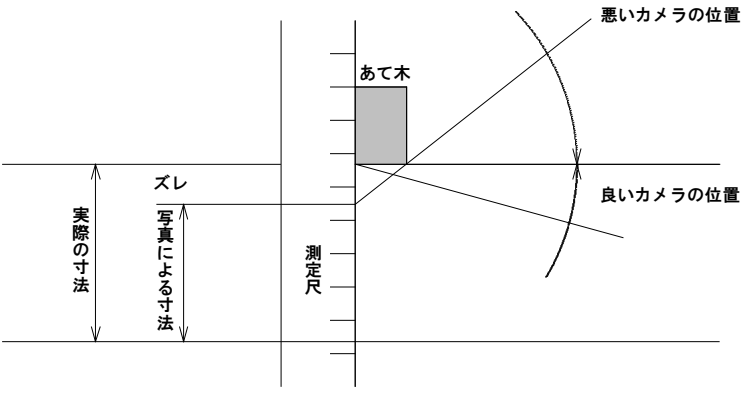
工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行	見 直 し	見直し内容
<p style="text-align: center;">工事記録写真撮影要領</p> <p>1. 目的 この要領は、広島市水道局（以下、「本局」という。）の発注する水道施設の新設、改良工事等で、受注者が本局に提出する工事記録写真（電子媒体によるものを含む）について、工事の各施工段階における施工状況、使用材料等の記録を残すとともに、工事完成後に外面から明視できない部分の施工状況が契約どおり完全に履行されているかなどの判断資料及び説明資料となるような作成を図ることを目的とする。</p> <p>2. 工事写真の分類 工事写真は、目的別に次のように分類を行うものとする。</p> <div style="margin-left: 20px;">  </div>	<p style="text-align: center;">工事記録写真撮影基準</p> <p>1. 目的 この基準は、広島市水道局（以下、「本局」という。）の発注する水道施設の新設、改良工事等で、受注者が本局に提出する工事記録写真（電子媒体によるものを含む）の撮影方法及び整理方法について、必要な事項を定め、受注者が工事の経過及び施工管理の状況等を適切に記録することを目的とする。</p> <p>2. 工事記録写真の分類 工事記録写真は、次のとおり分類する。 <u>(1) 着手前及び完成</u> <u>(2) 施工状況</u> <u>(3) 安全管理</u> <u>(4) 使用材料</u> <u>(5) 品質管理</u> <u>(6) 出来形管理</u> <u>(7) 災害</u> <u>(8) 事故</u> <u>(9) 補償関係ほか</u></p>	<p>表題の見直し</p> <p>表現の修正</p> <p>表現の修正</p>

工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行	見 直 し	見直し内容
<p>3. 撮影者の心構え</p> <p>(1) 工事写真の撮影は、担当者を定めて責任をもって撮影から整理までの管理を一括して行うようにし、工事の規模によっては、撮影補助者をあらかじめ定めておくこと。</p> <p>(2) 出来形、施工状況、材料検収等写真の目的により、被写体を明確にして撮影すること。</p> <p>(3) 撮影場所、撮影位置、測点等を明確にして撮影すること。</p> <p>(4) 工事は常に進行しており、施工順序、工程の進捗状況との関係を明らかにし、着手前、施工中、完成後における撮影時期を逸しないようにすること。</p> <p>(5) どうすれば、その目的にあった写真が撮影できるか、十分考慮して構図を定めかつ、使用器具の選定や撮影技法を工夫すること。</p>	<p>3. <u>工事記録写真撮影計画</u></p> <p>(1) <u>工事記録写真撮影計画書</u> <u>受注者は、工事記録写真の撮影に先立ち、工事記録写真撮影計画書（以下、「撮影計画書」という。）を作成し、施工計画書に添付して監督員に提出する。ただし、軽易な工事においては、監督員の承諾を得たうえで、撮影計画書の作成を省略することができる。</u></p> <p>(2) <u>撮影計画書の記載事項</u> <u>撮影計画書に記載する項目は、次のとおりとする。</u></p> <p><u>ア 撮影責任者及び撮影補助者</u></p> <p><u>イ 分類方法、撮影項目、撮影時期、撮影頻度</u></p> <p><u>ウ 撮影の留意点</u></p> <p><u>エ 撮影器具の仕様</u></p> <p><u>オ 工事記録写真の提出形式</u></p>	<p>撮影計画書の追記</p> <p>記載事項の追記</p> <p>4. 撮影方法へ統合</p>

工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行	見 直 し	見直し内容										
<p>4. 撮影の基本的事項</p> <p>(1) 工事写真は、工程上撮り直しのできないものが多いので、撮影は十分注意して行うこと。</p> <p>(2) 一般的留意事項</p> <p>ア 施工段階ごとに見えなくなる部分については、特に撮影時期を逸しないように注意し行うこと。</p> <p>イ 寸法確認写真は、カメラアングルが悪いと写真に正確な寸法が表示できないので、カメラの位置はなるべく被写体と測定尺、あるいはあて木等に対して正面になるようにすること。</p>  <p>ウ 同じ撮影項目の写真を撮影する場合は、測点等を黒板に明示し、できる限り周囲の地形、風景を背景に入れるなどして、どこの写真かをはっきりするように工夫すること。</p> <p>エ 配管工事の各段階写真を撮影する場合は、測点を決め周囲の地形、風景が入るよう同じアングルから撮影すること。また、撮影時、黒板の字が判読できるように工夫すること。</p> <p>オ 設計図書の内容をよく理解し、設計内容が細部にわたって写真で説明できるように配慮して撮影すること。</p> <p>カ 写真を撮影後、速やかに整理し、目的の写真が撮れているかどうか確認すること。</p> <p>(3) 使用器具</p> <p>ア カメラ</p> <p>(ア) 撮影目的に最も適したカメラ及びレンズを使用すること。</p> <p>(イ) 占用許可等で必要な写真は、緊急を要する場合には監督員と協議のうえ、次のカメラを使用すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35ミリフィルム（135フィルム）用カメラ ・インスタントフィルム用カメラ ・デジタル用カメラ <p>イ 照 明</p> <p>夜間撮影の場合又は撮影目的を果たし得ない明るさの場合は、照明設備を整えるか、ストロボを使用すること。</p> <p>ウ 黒 板（表示板）</p> <p>(ア) 写真撮影の対象物、撮影箇所、条件等を明確に表すため、必ず黒板を入れて撮影すること。</p> <p>(イ) 黒板の様式は、下図を参考とし、あらかじめ白色又は黄色ペイントで枠どりし、必要事項を記入しておくこと。</p>	<p>4. 撮影方法</p> <p>(1) 撮影の基本的事項</p> <p><u>ア 工事記録写真の撮影にあたっては、常に工事の進捗状況を把握し、撮影時期を失しないようにする。</u></p> <p><u>イ 原則として、黒板（表示板）を入れて行う。</u></p> <p><u>ウ 撮影は、被写体に平行または直角の方向から行い、黒板（表示板）等の文字がハレーションにより見えなくなることを防ぐため、反射光を受けない角度とする。</u></p> <p><u>エ 同一の被写体の施工過程を撮影する場合は、一定の方向から同じような構図で行う。</u></p> <p><u>オ 一部分を拡大撮影する場合は、拡大写真とは別に、その箇所の全景（被写体とその周辺）を写した写真も撮影し、拡大した被写体の位置がわかるようにする。</u></p> <p><u>カ 寸法検測写真は、測定器具を使用し、目盛が正確に読み取れるように配慮して行う。</u></p>  <p><u>キ 夜間に撮影する場合や暗い部分を撮影する場合は、必要に応じてストロボ、照明等の補助用具を適宜使用し、被写体が明瞭に写るようにする。</u></p> <p>(2) 撮影に使用する器具等</p> <p><u>ア カメラは、原則としてデジタルカメラを使用する。</u></p> <p><u>イ 黒板（表示板）は、下図を参考とし、工事番号、工事名、測点、工種、受注者及びその撮影内容を説明する事項を記載する。</u></p> <p style="text-align: center;"><u>黒板（表示板）</u></p> <table border="1" data-bbox="1617 1617 2033 1911"> <tr> <td>平成</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>工 事 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">受 注 者</td> </tr> </table>	平成	年度	工 事 名		測 点		工 種		受 注 者		<p>表現の修正</p> <p>説明図の更新</p> <p>表現の追記</p> <p>表現の修正</p>
平成	年度											
工 事 名												
測 点												
工 種												
受 注 者												

工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行	見 直 し	見直し内容										
<p style="text-align: center;">写真説明用黒板</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50px;">平成</td> <td style="width: 50px;">年度</td> </tr> <tr> <td>工 事 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; height: 100px;">受 注 者</td> </tr> </table> <p>エ 測定器具 出来形写真には、その寸法が確認できるよう箱尺、リボンテープ、あて木等の準備をし、撮影すること。</p> <p>オ その他 (ア) 撮影箇所の周囲は、よく整理して撮影すること。また、コンクリート構造物は、土砂等の付着物をよく清掃して撮影すること。 (イ) 夜間工事の写真は、夜間の状況が判断できるように撮影すること。 (ウ) 完成写真は、残材等すべての跡片付けが完了した状態で撮影すること。</p> <p>5. 工事写真の撮影方法 (1) 工事状況写真 ア 工事着手前及び工事完成写真 (ア) 着手前及び完成後における工事区間の全体状況を把握するため、写真は定点を持って同一方向から同一箇所を撮影すること。 (イ) 工事区間（路線）の全体を、測点ごとに、着手前と完成後とが比較対照できるように撮影すること。ただし、全景写真で状況把握が不十分な場合には、部分写真を撮影し、全景写真を補完すること。 イ 工事施工中の写真 (ア) 設計図書に合った適正な施工がなされているかどうかの判断資料とするため、設計図書の工種ごとの進捗に合わせ撮影すること。 (イ) 撮影の際、その目的が判然と表現できるよう箱尺、リボンテープ、黒板等を常に取り入れて撮影すること。 (ウ) 施工場所がはっきり確認できるよう可能な限り付近の目標物を入れて撮影すること。 (エ) 設計図書と現地とが一致しない場合の判断資料とするため、写真で明確に不一致な状況が判定できるよう黒板に寸法等を明示して撮影すること。</p>	平成	年度	工 事 名		測 点		工 種		受 注 者		<p><u>ウ 測定器具は、出来形寸法等を確認できるスタッフ、スペースロッド、スライドロッド、巻尺、リボンロッド、あて木、デブスコアーロッド等を使用する。</u></p> <p>5. 撮影内容 (1) 撮影内容 <u>工事記録写真の撮影項目、撮影箇所、撮影頻度は、別添の「撮影内容一覧表」による。なお、これに記載のない撮影項目は、類似の撮影項目を参考とし、監督員と協議のうえ、撮影する。</u> (2) 撮影内容一覧表の用語の定義 <u>ア 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。</u> イ 箇所毎とは、全施工箇所をいう。 ウ 区間毎とは、施工区間をいう。 エ 打設工程毎とは、コンクリート打設回数毎をいう。 オ ロット毎とは、原則として同一作業班が同一日に施工した圧接箇所をいう。</p> <p>6. 撮影に関する留意点 <u>撮影にあたっては、写真の種別に応じた施工状況、寸法の確認など撮影の目的を把握し、その意図したものが写真で確認できるように撮影する。</u> (1) 着手前及び完成写真 <u>着手前及び完成写真は、工事目的物の全体的な状況を把握するもので、工事の着手前及び完成後の現地の状況を撮影する。</u> <u>ア 着手前写真は、現地着手前の状況を撮影するもので、目的物の完成状況を考慮し、撮影位置、構図を決定する。</u> <u>イ 完成写真は、工事完成後の写真を撮影するもので、着手前写真と同じような構図で撮影する。</u> (2) 施工状況写真 <u>施工状況写真は、全体工程を把握できる資料、施工状況を確認する資料等となるように撮影する。</u> <u>ア 工事の進捗状況写真は、着手前写真と同じような構図で撮影する。</u> <u>イ 現地との不一致の撮影は、現地にマーキング、測定器具、丁張等で、設計図書との不一致の状況等がわかるように撮影する。</u></p>	<p>表現の修正 測定器具の追記</p> <p>撮影内容の詳細の追記</p> <p>表現の修正</p> <p>撮影に関する留意点の追記</p>
平成	年度											
工 事 名												
測 点												
工 種												
受 注 者												

工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行	見 直 し	見直し内容
<p>(オ) 安全管理に必要な施設等は、道路交通の安全及び作業員の安全等を確保するために、工事現場に設置するものであり、後日、安全管理に注意を払い施工をしたことが確認でき、また万一事故が発生した場合の原因解明ができるように撮影すること。</p> <p>(2) 出来形管理写真 設計図書における設計値と出来形との確認をするため、黒板には必要に応じて設計値と実測値を記入し、設計図書等と写真が照合できるように撮影すること。</p> <p>(3) 検収写真 工事に使用する材料の寸法、数量等を使用後において確認するため、材料が現地に搬入された時点において、寸法及び数量等を黒板に明示し撮影すること。</p> <p>(4) 品質管理写真 使用材料の品質を確認するため、試験や測定の実施状況を撮影すること。</p> <p>(5) 災害写真 工事施工期間中、天災その他不可抗力等により事故が発生した場合の判断資料とするため、常日頃から施工状況の撮影を漏らすことのないようにすること。</p> <p>(6) 償務写真 市街地の工事では、家屋等への損傷を与える恐れがあるので、あらかじめ想定される影響範囲の建物その他の構造物について、工事着手前に家屋調査を行い、家屋等へ損傷を与えた場合は、その状況について詳細に撮影すること。</p>	<p><u>(3) 安全管理写真</u> <u>安全管理写真は、工事における保安施設等の配置状況や安全確保のための対策等の状況を把握するために撮影する。</u> <u>ア 安全管理写真は、交通誘導警備員配置箇所すべての交通整理状況を撮影する。</u> <u>イ 安全教育実施状況写真は、実施内容や参加人員全体がわかるように撮影する。</u></p> <p><u>(4) 使用材料写真</u> <u>使用材料写真は、工事に使用される主要材料のうち、使用後に形状、寸法、品質等が確認できなくなるものについては、工事に使用される前に撮影する。</u> <u>また、事前に監督員の確認を受けなければならない材料がある場合は、その検査実施状況、材料検収状況を撮影する。</u> <u>ア 可能な限り背景に現場の一部を入れて撮影する。</u> <u>イ 材料検収状況は、立会者を入れて撮影する。</u></p> <p><u>(5) 品質管理写真</u> <u>品質管理写真は、試験室または施工現場において実施する試験、測定等について、その実施状況が確認できるように撮影する。</u> <u>ア 試験の内容及び試験に使用した機械・器具が確認できるように撮影する。</u> <u>イ 黒板(表示板)には、規格値と測定値を記入し、工事記録写真で確認できるように撮影する。</u> <u>ウ 使用試験器具等に目盛りがある場合は、写真で目盛りが確認できるように撮影する。</u></p> <p><u>(6) 出来形管理写真</u> <u>出来形管理写真は、対象物の全体に対する位置づけがわかる構図とし、寸法検測、数量確認、状況把握、機種、材料確認の目的に応じて撮影する。</u> <u>ア 黒板(表示板)には、設計値と実測値を記入し、設計図書等と工事記録写真が照合できるように撮影する。</u> <u>イ 寸法検測写真は、測定した寸法が判読できるように撮影する。</u> <u>ウ 数量確認写真は、対象物の全数が入る構図とする。なお、同時に全数が入らない場合は、組み写真とする。</u> <u>エ 状況把握写真は、必要に応じて作業の前後が比較できるように撮影する。</u> <u>オ 機種、材料確認写真は、撮影対象の機種または機器など機械配置がわかるように撮影する。</u></p> <p><u>(7) 災害写真</u> <u>天災等による損害を的確に把握するために、被災直後、被災後、応急対策後について撮影する。</u></p> <p><u>(8) 事故写真</u> <u>事故発生状況を的確に把握するために、事故発生直後、事故発生後について撮影する。</u></p> <p><u>(9) 補償関係ほか</u> <u>ア 補償関係写真は、あらかじめ工事の振動による建造物のクラックなど予想される場合に、想定影響範囲の物件などを対象に発生前、発生直後、発生後に撮影する。</u> <u>イ 環境対策写真は、次の目的別に撮影する。</u> <u>① あらかじめ工事の締め切りによる井戸水の枯渇など予想される場合に、想定影響範囲の物件などを対象に発生前、発生直後、発生後に撮影する。</u> <u>② 建設機械毎に、排出ガス対策型建設機械の使用状況を撮影する。</u> <u>③ 公衆衛生(トイレ設置)状況を撮影する。</u> <u>ウ イメージアップ等写真は、各施設設置状況を撮影する。</u></p>	<p>表現の修正</p> <p>表現の修正</p> <p>表現の修正</p> <p>表現の修正</p> <p>表現の修正</p> <p>表現の修正</p> <p>表現の修正</p> <p>表現の修正</p> <p>表現の修正</p>

6. 留意事項

- (1) 工種別の撮影項目、撮影箇所及び撮影内容、撮影頻度については、別紙の撮影内容一覧表によること。
なお、建築・機械・電気設備工事の撮影箇所及び撮影内容、撮影頻度については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」によること。
- (2) 撮影内容一覧表は、基準を示したものであり、工事内容により必要に応じて変更を行うこと。
- (3) 撮影内容一覧表にない撮影項目については、類似の撮影項目を準用すること。
- (4) 撮影頻度の定義
- ア 箇所ごととは、全施工箇所をいう。
 - イ スパンごととは、1日の作業区間をいう。
 - ウ 1路線ごととは、ある一定の区間をいう。
 - エ 打設工程ごととは、コンクリート打設回数ごとをいう。
 - オ 適宜とは、監督員と協議し、撮影頻度を定めるものとする。
 - カ 施工単位とは、施工箇所の1ブロックをいう。
 - キ 1施工単位とは、1ブロック内で形状寸法、規格等ごとをいう。

5. 撮影内容へ統合修正

工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行	見 直 し	見直し内容
<p>7. 工事写真帳の整理</p> <p>(1) 工事写真帳は、撮影内容一覧表の撮影頻度に基づいて撮影した写真の中から選択したものを整理し作成すること。</p> <p>(2) 写真をより明確にするため、必要に応じて、設計図や略図あるいは拡大図を添付し写真の整理を行うこと。</p> <p>(3) 撮影頻度に基づいて撮影した写真は、速やかにベタ焼きしネガと対比してネガブックに整理するとともに、工事写真帳に整理する写真を選択して焼き増ししておくものとする。APSのカートリッジフィルムで提出する場合はカートリッジフィルム内の撮影内容がわかるように明示し、インデックス・プリントとともに提出すること。</p> <p>(4) 工事写真帳の様式</p> <p>ア 工事写真帳は、4切版のフリーアルバム又はA4版とする。</p> <p>イ 工事写真帳の表紙</p> <p>(ア) 表表紙は下記のとおりとする。</p> <div data-bbox="311 808 1053 1228" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div> <p>(イ) 背表紙は、下記のとおりとする。</p> <div data-bbox="311 1302 1023 1428" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div>		<p>以下、工事写真帳の整理（フィルム用撮影）の削除</p>

工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行	見 直 し	見直し内容
<p>(5) 写真の編集</p> <p>ア 写真編集の基本事項</p> <p>(ア) 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、着手前、完成写真等はキャビネ版又はパノラマ写真(つなぎ写真可)とすることができる。また、監督員が指示するものは、その指示した大きさとする。</p> <p>(イ) 表表紙の裏に図面袋を添付し、その中に撮影内容一覧表の撮影項目に基づき工事写真目録及び写真整理平面図等を作成し納めること。</p> <p>(ウ) 編集は、原則として1路線を1単位とする。ただし、路線が長い場合は、適当に分割すること。</p> <p>イ 説明図等の添付</p> <p>(ア) どの路線の写真かを分りやすくするため、平面図を縮小して、路線ごとに写真の前に添付すること。</p> <p>(イ) 写真にて表現しにくいものは、別途に図面等を添付すること。</p> <p>(6) 工事写真の提出</p> <p>ア 工事写真として、工事写真帳と原本(ネガブック、APSカートリッジフィルム・インデックスプリント)を工事完成時に各1部提出すること。ただし監督員から追加提出を求められたときは、これに応じること。</p> <p>イ 道路管理者、河川管理者等へ提出する写真は、工事着手前、施工中、完成後の状況がよくわかるように工事写真帳とは別冊に整理し、監督員に提出すること。</p> <p>ウ 撮影したフィルムは、撮影後、速やかに現像焼付けし、工事写真目録順にネガブック等にネガとベタ焼きを対比させて整理しておくこと。</p>		

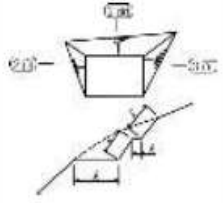
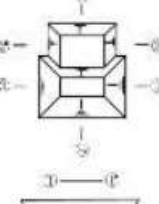
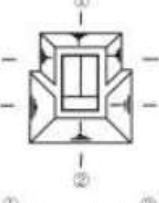

工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行	見 直 し	見直し内容																														
<div data-bbox="439 300 1071 852" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ネガブック</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">(着手前) ネ ガ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">○</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">○</td> <td style="width: 5%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">(着手前) ベ タ 焼</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(完成後) ネ ガ</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(完成後) ベ タ 焼</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(試験場) ネ ガ</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(試験場) ベ タ 焼</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(舗装取壊工) ネ ガ</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(舗装取壊工) ベ タ 焼</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(床掘工) ネ ガ</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(床掘工) ベ タ 焼</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(埋戻工・転圧工) ネ ガ</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(埋戻工・転圧工) ベ タ 焼</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">↑ 1 10 ↑ インデックスで見出しを付ける</p> </div> <p data-bbox="181 1430 1302 1535">8. 電子媒体による工事写真の整理 電子媒体に記録する工事写真等の整理については、別に定める「工事写真等の電子納品作成基準」によること。</p>	(着手前) ネ ガ	○	○		(着手前) ベ タ 焼	(完成後) ネ ガ	○	○		(完成後) ベ タ 焼	(試験場) ネ ガ	○	○		(試験場) ベ タ 焼	(舗装取壊工) ネ ガ	○	○		(舗装取壊工) ベ タ 焼	(床掘工) ネ ガ	○	○		(床掘工) ベ タ 焼	(埋戻工・転圧工) ネ ガ	○	○		(埋戻工・転圧工) ベ タ 焼	<p data-bbox="1317 894 2436 1142">7. 整理方法 <u>(1) 整理上の留意点</u> 整理する順番は、設計図書の工種毎に、工事の着手前から完成までの経過が把握できるように順序よく編集する。 <u>(2) 写真帳（ダイジェスト版）の作成</u> 写真帳の様式は、A4 版縦型とし、表紙には、工事番号、工事名、工事完成日、受注者を記入する。</p> <p data-bbox="1317 1184 2436 1352">**. 工事写真等の提出 <u>道路管理者、河川管理者等へ提出する工事写真等は、工事着手前、施工中、完成の状況がよくわかるように整理すること。また、写真帳（ダイジェスト版）とは別冊に整理し、監督員に提出すること。なお、監督員から追加提出を求められたときは、これに応じること。</u></p> <p data-bbox="1317 1430 2436 1535">8. 電子媒体による工事記録写真の作成 電子媒体に記録する工事記録写真の作成については、別に定める「工事写真等の電子納品作成基準」によること。</p>	<p data-bbox="2451 894 2783 926">整理方法の追記</p> <p data-bbox="2451 1251 2783 1283">特記仕様書へ記載</p> <p data-bbox="2451 1430 2783 1461">表現の修正</p>
(着手前) ネ ガ	○	○		(着手前) ベ タ 焼																												
(完成後) ネ ガ	○	○		(完成後) ベ タ 焼																												
(試験場) ネ ガ	○	○		(試験場) ベ タ 焼																												
(舗装取壊工) ネ ガ	○	○		(舗装取壊工) ベ タ 焼																												
(床掘工) ネ ガ	○	○		(床掘工) ベ タ 焼																												
(埋戻工・転圧工) ネ ガ	○	○		(埋戻工・転圧工) ベ タ 焼																												

工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行					見 直 し	見直し内容	
撮影内容一覧表					別添「撮影内容一覧表」参照	撮影内容一覧表を全面見直し	
区分	工 種	撮影項目	撮影箇所及び内容	撮影頻度			備 考
共	着手前及び完成写真	着手前 完成後	全景及び部分（測点）各 路線ごと	着手前，完成後 各1回			同一方向から同一箇 所を撮影する。
	試掘		試掘状況 ・幅，長さ，長さ ・地下埋設物の種類， 位置，長さ ・管径	適 宜			試掘場所を黒板に明 記する。
	その他	図面との不一致	設計図書と現地の不一致 状況	箇所ごと			不一致状況が判定で きるよう寸法等を明 示して撮影する。
		土質調査	調査状況 ・掘削深度の測定（ロッ ド長） ・資料の収集	箇所ごと			
		井戸分布調査等		箇所ごと			
		安全管理	設置状況 ・各種標識類 ・各種保安施設 交通誘導状況 交通誘導警備員配置状況	スパンごとまたは 1路線数か所 1工事数か所			夜間の保安施設設置 状況も撮影する。
	家屋等調査	家屋等調査要領による。					
	災害状況	被災状況及び被災規模等	その都度 〔被災直後〕 〔被災後〕				
	事故報告	事故の状況	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	着手前は付近の写真 でも可			
	補償関係	被害又は損害状況	その都度				
環境対策・イメージアップ等	各施設設置状況	各種毎1回					
通	仮設工事	土留工	設置状況 ・打設，引抜き ・支保工 ・部材の形状寸法	箇所ごと			工事区間（始～終点） 又は交差点～交差点 の区間
		路面覆工	設置状況 ・路面とのすり付け ・部材の形状寸法	箇所ごと			
		仮締切	設置状況 ・工法 ・材料の形状寸法	箇所ごと			設置前，設置後及び 取除き後に一定方向 から同一箇所を撮影 する。
		仮排水工	設置状況 ・材料の形状寸法	箇所ごと			

工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行						見 直 し	見直し内容
区 分	工 種	撮影項目	撮影箇所及び内容	撮影頻度	備 考	別添「撮影内容一覧表」参照	撮影内容一覧表を全面見直し
		共通	仮設配管工	設置状況 ・材料の形状寸法	1路線数か所		
		既設物防護工	設置状況	箇所ごと	つり防護, 受け防護等		
		水替工	設置状況	適 宜			
出 来 形 管 理	土 工	伐開除根	施工前, 施工後の状況	適 宜			
		切取工	施工状況 ・工法 ・機械と人力の区分 ・切取り後 ・土質等の判別	1施工単位ごと 地質が変わること		1断面数か所	
		掘削・床掘工	施工状況 ・工法 ・機械と人力の区分 ・基面の状態 ・土質等の判別	1施工単位ごと 地質が変わること		1断面数か所	
	盛土工 埋戻工	施工状況 ・工法 ・敷均し, 締固め, 転圧 (一層ごと) ・機械と人力の区分 ・施工後(整地状態)	1施工単位ごと		1断面数か所		
		土取場所	1工事1回		1断面数か所 指定の場合		
	構造物築造工 事	コンクリート工	清掃及び散水状況 打設状況 仕上がり寸法等 養生	打設工程ごと			
施工継手工		打継目処理状況 ・処理方法 ・仕上がり状態 ・モルタル	適 宜				

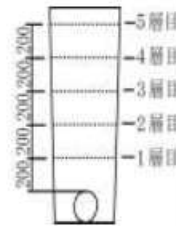
工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行						見 直 し	見直し内容
出 来 形 管 理		伸縮継手工	止水板設置状況 目地材 " "	適 宜		別添「撮影内容一覧表」参照	撮影内容一覧表を全面見直し
		型枠 支保工	設置状況 再使用型枠の清掃, 補修	打設工程ごと 適 宜			
		鉄筋工	組立て及び配筋状況 ・径, 間隔, 継手の形状 寸法 露出鉄筋の保護	打設工程ごと 適 宜	径等は黒板に明示する。 長期露出の場合		
		内面保護工	施工状況 ・下地処理及び表面清掃 ・清掃完了検査 ・樹脂の塗装 ・膜厚及び接着力の検査 ・材料の使用量	壁面及び底版 数か所	1 池当たり		
		諸金物設置工	設置状況 ・形状寸法	1 施工単位ごと	設置場所は黒板に明示する。		
	法面保護工事	芝付工	施工状況 ・締固め	1 施工単位ごと	1 断面数か所		
		種子吹付工	施工状況 ・土羽土の厚さ ・材料の使用量	1 施工単位ごと	1 断面数か所		
		植生穴工	施工状況 ・深さ, 径, 間隔	1 施工単位ごと	1 断面数か所		
		セメント類 吹付工	施工状況 ・法面清掃 ・金網の重合わせ寸法 ・吹付厚 ・材料の形状寸法	1 施工単位ごと 又は 200m ² に1 か所以上, 200m ² 未満は2か所	金 網		
		コンクリート法 枠工	施工状況 ・幅, 厚さ, 長さ	1 施工単位ごと	1 断面数か所		
	基礎工事	砕石・栗石・コン クリート基礎工	施工状況 ・敷並べ, 締固め ・幅, 厚さ	1 施工単位2か 所以上 (施工延 長 100m 以上は 50m 増すごとに 1か所以上)			
		置換基礎工	施工行状況 ・締固め ・幅, 深さ (厚さ), 長さ	1 施工単位ごと			
		杭基礎工	施工状況 ・工法 ・使用機械 ・継手, 杭頭仕上げ ・杭長, 径, 配筋, 杭間 隔 ・数量	1 施工単位ごと			

工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行						見 直 し						見直し内容	
出 来 形 管 理	地盤改良工事	薬液注入工法及びかくはん混合工法等	使用機器類設置状況 注入状況 ・注入位置 ・注入深さが確認できるもの ・材料の使用量 観測井設置状況 地下水観測 〃	1 工事数か所 適 宜 箇所ごと 適 宜	注入ロッド長（数） により確認する。 水質・水位（付近の 井水等）	別添「撮影内容一覧表」参照	撮影内容一覧表を全面見直し						
	場内整備工事	場内整備（舗装）	舗装工事に準ずる										
		擁壁築造工事（コンクリート）	施工状況 ・裏込め ・幅、高さ、延長 ・透水マット	1 施工単位ごと	1 断面数か所								
		ブロック（石）積張工	施工状況 ・合端処理 ・胴込め、裏込めコンクリート ・厚さ（天端幅）、法長 ・延長	1 施工単位ごと	1 断面数か所								
		コンクリート側溝工（柵設置工）	施工状況 ・幅、厚さ、高さ	1 施工単位ごと以上（施工延長100m 以上は 50m 増すごとに 1 か所以上）	形状寸法ごと								
		プレキャスト製品据付工	据付け状況	1 施工単位ごと以上（施工延長100m 以上は 50m 増すごとに 1 か所以上）	形状寸法ごと（L型側溝、境界ブロック、フリユーム等）								
		フェンス設置工	設置状況	1 施工単位ごと	水平、傾斜部ごと								
		有刺鉄線柵工	設置状況 ・根入れ、根固寸法	1 施工単位ごと	水平、傾斜部ごと								
		境界杭設置工	設置状況 ・根入寸法	1 施工単位 2 か所以上	コンクリート杭、鋳鉄製明示板、プラスチック明示板等								
		植栽工	植付け状況	1 施工単位ごと									
	舗装工事	路盤工	施工状況 ・敷均し ・締固め、転圧 ・幅、厚さ	路線ごと及び種別（厚さ）ごと									
		アスファルト舗装工	施工状況 ・敷均し ・締固め、転圧 ・タック、プライムコート コア抜取り状況 ・厚さ	路線ごと及び種別（厚さ）ごと 各層ごと（乳材） 箇所ごと									

工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行						見 直 し	見直し内容
出 来 形 管 理	区分	工 種	撮影項目	撮影箇所及び内容	撮 影 頻 度	備 考	別添「撮影内容一覧表」参照 撮影内容一覧表を全面見直し
			コンクリート舗装工	施工状況 ・スリップバー、タイバー寸法、位置 ・鉄網寸法及び据付位置 コア抜取り状況 ・厚さ	路線ごと及び種別（厚さ）ごと 箇所ごと	据付位置は黒板に明示する。	
		配管工事	舗装版破砕工	切断状況 取壊し状況 ・幅、厚さ	20m ごと、または 1 路線数か所	舗装種別（厚さ）ごと と撮影箇所は測点位置とする。	
			床掘工	施工状況 ・機械と人力の区分 ・幅、深さ ・基面の状態 ・土質等の判別	20m ごと、または 1 路線数か所 地質の変化点		
			埋戻工	施工状況 ・機械と人力の区分 ・材質別厚 ・敷均し	20m ごと、または 1 路線数か所		
			転圧工	・締めめ状況	20m ごと、または 1 路線数か所	” ”  1層ごと	
			吊込据付工及び継手工	吊込据付け状況 ・口径、土被り、占用位置 ・他埋設管との間隔 管切断状況 ・切管端面防錆工 継手状況 ・材料名及び規格寸法 ・ポリスリーブ被覆 ・明示粘着テープ・シート貼り付け ・継手締付け状況 ・継手締付用具 水圧試験実施状況 ・実施報告書	20m ごと、または 1 路線数か所 適 宜 20m ごと、または 1 路線数か所 口径ごと1回 箇所ごと	黒板に明示する。 トルクレンチ	
		伏越工	施工状況 ・既設物（管）の保護 ・ ” の間隔 ・土被り	箇所ごと			

工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行						見 直 し	見直し内容
出 来 形 管 理	管	新旧管連絡工	既設管との連絡状況	箇所ごと		別添「撮影内容一覧表」参照	撮影内容一覧表を全面見直し
		管防護工	打設状況 ・仕上がり寸法等	適 宜	型枠・基礎工共 黒板に平面・断面図 を記入する。		
		弁栓類設置工	据付け状況 ・鉄蓋、土留側・板	箇所ごと	基礎工共		
		漏水測定器取付 設備工	取付け状況 ・鉄蓋、土留側・板 ・材料の規格、形状寸法	箇所ごと	基礎工共		
		沈下測定棒取付 工	取付け状況 ・鉄蓋、土留側・板 ・材料の規格、形状寸法	適 宜	基礎工共		
		路盤工	舗装工事に準ずる。	20m ごと、または 1 路線数か所	舗装種別（厚さ）ご と 撮影箇所は測点位置 とする。		
		仮舗装工	施工状況 ・敷均し ・締固め、転圧 ・厚さ	20m ごと、または 1 路線数か所	舗装種別（厚さ）ご と 撮影箇所は測点位置 とする。		
		アスファルト舗 装工	舗装工事に準ずる。	20m ごと、または 1 路線数か所	舗装種別（厚さ）ご と 撮影箇所は測点位置 とする。		
		コンクリート舗 装工	舗装工事に準ずる。	20m ごと、または 1 路線数か所	舗装種別（厚さ）ご と 撮影箇所は測点位置 とする。		
	鋼管工事	鋼管溶接工	施工状況 ・吊込据付け状況 ・開先面の清掃 ・開先形状寸法 ・溶接状況 検査状況	適 宜	開先形状寸法は黒板 に明示する。 立会い状況		
		鋼管塗覆装工	施工状況 ・下地処理 ・塗装方法 ・仕上がり 検査状況	適 宜	塗覆装・塗装 立会い状況		
		電気防食工	設置状況 ・陽極、ターミナル取付 け ・ハンドホール ・配管配線	箇所ごと			
	給水装置工事	給水管取付工	施工状況(床掘～舗装) ・分水・止水栓取付け状 況 ・水圧試験実施状況	箇所ごと	黒板に配管詳細図を 記入する。		

工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行						見 直 し	見直し内容
出 来 形 管 理	区分	工 種	撮影項目	撮影箇所及び内容	撮影頻度	備 考	別添「撮影内容一覧表」参照 撮影内容一覧表を全面見直し
			給水管取付替工	施工状況(床掘～舗装) ・分水・止水栓取付け状況 ・連絡状況 ・水圧試験実施状況	箇所ごと	黒板に配管詳細図を記入する。	
		パイプリパース工事	クリーニング工	錆こぶの除去状況 ・錆こぶの発生状況 ・スクレーパー、スワッパの設置及び挿入状況 ・錆こぶ除去後の状況	スパンごと		
			ポリエチレンパイプ (PEP) 挿入工	PEPの挿入状況 ・先導管挿入状況 ・芯合わせ状況 ・熱板温度の設定 ・熱板圧着状況 ・溶着状況 ・挿入状況	20m ごと	PEP に番号を記入し撮影する。	
			ポリエチレンパイプの接合	短管の接合状況 ・芯合わせ状況 ・熱板温度の設定 ・熱板圧着状況 ・溶着状況 ・接合完了後の状況 ・特殊短管L型との接合及びステンレスコアの取付状況及び完了後の状況	箇所ごと		
			漏水試験工	空気圧テストの実施状況	スパンごと	初期設定圧力を黒板に記入する。	
			セメントミルク注入工	セメントミルク注入状況 ・かくはん状況 ・かくはん機での比重の確認 ・セメントミルク流出口での比重の確認 ・注入完了後の状況 (立坑内における注入口、流出口の閉塞)	スパンごと		
	建設副産物処理	建設発生土 再生砕石 アスファルト塊 コンクリート塊 その他副産物	建設副産物仮置場保管状況 建設副産物仮置場搬出積み込み状況 搬出運搬状況 受入先搬入状況	建設副産物及び建設副産物仮置場ごと			

工事記録写真撮影要領・基準新旧対照表

現 行						見 直 し	見直し内容
区分	工 種	撮影項目	撮影箇所及び内容	撮影頻度	備 考	別添「撮影内容一覧表」参照	撮影内容一覧表を全面見直し
材料管理	支給材料		管理状況 ・直管管理状況 ・異形管管理状況 ・弁検類管理状況 ・継手類管理状況	材料受領ごと			
検 収	材料検収		検収実施状況 ・数量 ・形状寸法	搬入時ごと	工所用材料確認請求書に記入するもの		
	仮設材検収		検収実施状況 ・数量 ・形状寸法	搬入時ごと			
品質管理	品質管理		設計図書で指示された項目。または、監督員が必要とみとめたもの。 試験実施状況	各試験、測定 1工事数か所	コンクリートの各種試験、その他各種試験		